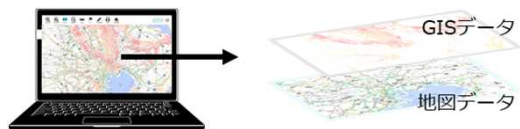


○国土交通省では、土地利用、行政区域、公共施設、社会インフラ、地域の災害リスク情報等の国土に関する基礎的な地理空間情報をGISデータにして整備し、国土数値情報として無償で提供しています。これまで、国土・地域計画策定での利用、民間でのビジネス利用や研究等に幅広く活用されています。

GISデータとは

- GISデータは施設（点）、鉄道等の線状物（ライン）、指定区域（面・メッシュ）などについての位置情報（緯度・経度）に加え、それぞれの地物に関する属性情報（例：施設名や鉄道路線名等）を保有したデータ。
- GISソフトを用いることにより、地図の上に図形として表示し、属性情報を用いて必要な情報を抽出したり、他のデータと重ね合わせて空間的な分析を行うことができる。

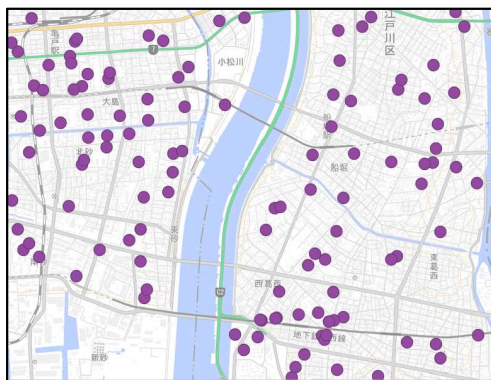


主な整備済み項目（令和5年6月現在）

国土の骨格	行政区域、道路、河川、鉄道、港湾、空港、バス停など
土地利用関連	土地利用、地価公示、都道府県地価調査など
指定地域	都市地域、人口集中地区、用途地域、過疎地域など
防災関連	洪水浸水想定区域、津波浸水想定、土砂災害警戒区域、避難施設など
公共的施設	市町村役場、公的集会施設、学校、福祉施設、医療機関など
その他	人口推計メッシュ、位置参照情報など

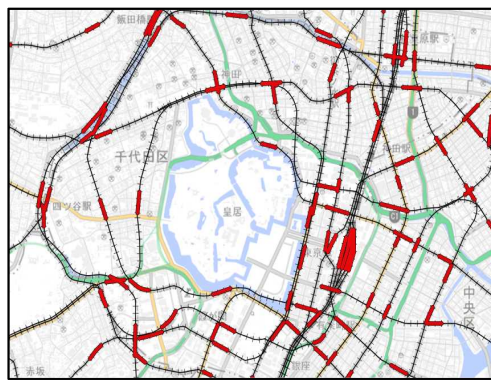
データの例

学校（点）



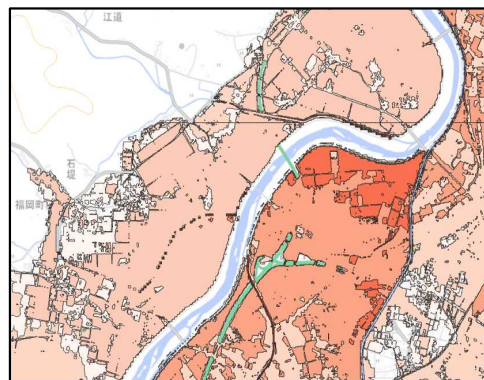
学校教育法に規定する全国の小学校、中学校等について、点データとして整備し、分類や名称を示す属性情報を付与

鉄道（線）



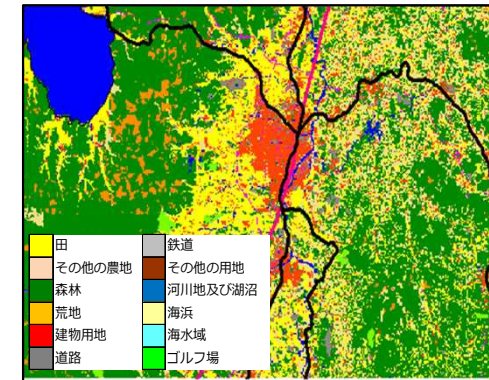
全国の鉄道の路線や駅について路線形状（線）のGISデータに、路線名や運営会社等の属性情報を付与して整備

洪水浸水想定区域（面）



河川管理者から提供された洪水浸水想定区域図の情報をもとに、浸水想定区域の範囲を示すGISデータと浸水深を示す属性情報を整備

土地利用（メッシュ）



衛星画像を用いて100mメッシュ単位で全国の土地の利用状況を判読し、属性情報として付与して整備（昭和51年より継続して整備）